

【ウ 文化芸術分野】 ◎方針：文化の薫る創造都市を実現し、「ひと」、「まち」を育みます。

<人づくり>

・地域への愛着や誇りを育みます。

	主な取組状況・成果	今後の取組予定・課題	関連する個別計画	担当課
1	○上田市日本遺産の普及・啓発 日本遺産 信州上田・塩田平検定、日本遺産スタンプリー等の実施により日本遺産の普及・啓発に取り組んだ。	上田市日本遺産推進協議会を中心に、商業・観光関係団体、市内大学等の関係団体と連携し、「日本遺産のまち信州上田・塩田平」を誇りに感じていただけるよう普及・啓発事業に取り組んでいく。	文化芸術振興に関する基本構想	文化政策課
2	○地域ふれあいコンサートの実施 プロの演奏に触れる機会を多くの市民に提供するため、公民館等を会場にワンコインで入場できるコンサートを実施（市内9公民館及び定住自立圏5町村）。	上田地域定住自立圏の中核である文化拠点として、市民が気軽にクラシック音楽に触れる機会の提供を図るとともに、広域的な文化交流を推進する事業を実施し「創造育成」を推進していく。		交流文化芸術センター
3	○レジデントアーティスト事業の実施 市民とアーティストがふれあい、表現活動の楽しさやすばらしさを体験することを目的とした、市民参加公演やワークショップ事業の他、当市ならではの要素を取り入れたオリジナル作品の創造（プロデュース公演）や、リサイタル公演など、国内外で活躍する劇作家や演奏家による滞在制作事業を実施した。	市民の芸術文化活動の推進を図るとともに市民自らが創作活動を行うきっかけや場を提供し、市民の主体的な文化芸術活動を促進していく。		
4	○郷土作家の顕彰（調査・研究）事業の実施 ・山本鼎に関する調査・研究 ・石井鶴三に関する調査・研究 ・ハリー・K・シゲタに関する調査・研究 ・中村直人に関する調査・研究 ・林倭衛に関する調査・研究	山本鼎をはじめ、郷土の作家について調査・研究を進め、一層の顕彰を図る。		上田市立美術館

	主な取組状況・成果	今後の取組予定・課題	関連する個別計画	担当課
5	○上田ゆかりの作家の展覧会の開催 ・中村直人展（R5）	上田ゆかりの作家をテーマにした展覧会を継続して計画していく。	文化芸術振興に関する 基本構想	上田市立美術館
6	○地域に根差す芸術文化を紹介する展覧会の開催 以下の展覧会を開催。 ・東信美術展（R3～R6） ・上田クロニクル（R5）	地域に根差す芸術文化を紹介する展覧会を継続して開催し、地域文化に対する理解や関心を深める。		
7	○コレクション展の開催 以下の展示を実施。 ・「山本鼎コレクション展示」山本鼎が制作した作品や農民美術運動に関連する資料等を展示 ・「上田市立美術館コレクション展示」山本鼎や石井鶴三などの当館の顕彰作家の作品を中心に、当館の所蔵品を展示	山本鼎や石井鶴三などの顕彰作家の作品等を展示するコレクション展を継続して開催し、作家や作品について広く紹介・発信する。		
8	○地域に根差す芸術文化を学ぶ講座の実施 みるつくるまなぶ事業（教育普及事業）として、地域に根差す芸術文化を学ぶ講座を実施した。 ・地域の彫刻を巡るバスツアー ・Reのうび（描いてつくって学ぶ農民美術） ・実践的こっぱ人形講座 など	みるつくるまなぶ事業（教育普及事業）として、引き続き地域に根差す芸術文化を学ぶ講座を開催するとともに、さらなる充実を図る。		
9	○上田城跡整備に関する出前講座の実施 上田城の歴史や、保存活用の方針、今後「本丸櫓」の復元や「武者溜り」の整備がどのように進められていくかを説明した。（R6：10件）	復元整備の進捗状況を踏まえ、継続して実施。	史跡上田城跡整備 基本計画	櫓復元推進室 上田城跡整備室 生涯学習・文化財課
10	○学校等と連携した魅力発信 小中学校の総合学習を通じて、史跡上田城跡の魅力を伝えるとともに、地域への愛着や誇りを育んだ。（R6：保育園1園、小学校1校、中学校2校、高校1校、大学1校）	復元整備の進捗状況を踏まえ、継続して実施。		

	主な取組状況・成果	今後の取組予定・課題	関連する個別計画	担当課
11	○上田城の櫓・櫓門の復元の機運醸成に向けた取組 上田城復元推進協議会や上田城復元の夢を叶える市民の会と連携して以下の取組を行ってきた。 ・上田城千本桜まつりや紅葉まつりの会場に復元PRブースを開設し、上田城クイズラリーや募金活動等を行った。（R6、R7） ・上田城シンポジウムを令和5年10月にサントミュージーゼ大ホールで開催し、約800人が参加した。 ・上田城トークショーを令和6年11月に上田城紅葉まつりのステージイベントとして開催し、約800人が参加した。	【今後の取組予定】 ・昨年度に引き続き、秋頃を目途に上田城トークショー等を開催予定。 【課題】 ・民間団体の協力をいただきながら機運醸成に向けた取組を行ってきたが、上田城櫓・櫓門復元に関する有力な情報が得られていないことから、取組を継続していく必要がある。	史跡上田城跡整備 基本計画	櫓復元推進室 上田城跡整備室 生涯学習・文化財課
12	○無形文化財の保存継承 無形民俗文化財後継者育成補助事業を実施し、対象となる団体に補助金を交付した。	少子高齢化等により、後継者の不足は依然として続いており、継続した支援が必要であることから継続して事業を実施する。	歴史文化基本構想	生涯学習・文化財課
13	○発掘調査の地域学習への活用 史跡上田城跡等の発掘調査において、調査成果を公開し社会教育・地域学習の取り組みとして現地説明会を実施した。	毎回多くの方に参加ただいており、今後も調査実施にあわせ継続して実施する。		
14	○文化財の保存・活用の推進 出前講座を実施し、地域に出向いて文化財の保存活用に向けた取組等についての講演を行った。	文化財の保存活用は、文化財所有者や行政のみならず、住民を含めた地域全体で取り組む必要があることから、引き続き講座等を開催し、普及啓発に努めていく。		

- ・子どもたちの豊かな発想、感受性、創造力を育みます。

	主な取組状況・成果	今後の取組予定・課題	個別計画	担当課
1	○芸術家学校派遣事業 子ども達が生の芸術を間近で鑑賞する機会を提供するため、芸術家を学校へ派遣する事業を実施した。	交流文化芸術センターで実施している「芸術家ふれあい事業」と重複した事業であることから、令和7年度から「芸術家ふれあい事業」に一本化する。	文化芸術振興に関する基本構想	文化政策課
2	○子ども文化講座 上田市文化少年団の活動内容をPRする参加型イベントを通して、子どもたちに文化活動に親しむ機会とした。	子ども達が文化活動に関心を示してもらうきっかけとなりうる事業であることから、継続して実施する。		
3	○子ども文化祭 子どもたちが文化活動を通して、学校、年齢、地域やジャンルといった枠組みを超えた交流を行い、協調性や多様性を育むとともに地域全体の文化振興を図ることを目的として、子ども文化祭を実施した。	異なるジャンルの文化活動に取り組む子ども達が、他団体の発表をとおして協調性や多様性を育む機会となっており、今後も継続して実施する。		
4	○芸術家ふれあい事業の実施 未来を担う子どもたちの感性や想像力の育成を図るため、小学校の音楽室や体育館といった身近な空間で、音楽家やダンサーと児童がふれあうクラスコンサートやコンテンポラリーダンスを通じた身体表現のワークショップなどを実施。（市内24小学校でのクラスコンサート）	館の基本理念である「育成」の根幹事業であり、訪問した小学校からの評価も非常に高いことから、引き続き学校と連携を図り事業を実施していく。		交流文化芸術センター
5	○子どもアトリエプログラム（教育普及事業） 幼稚園、保育園、小学校の受入及びアウトリーチ、鑑賞サポートを実施した。	引き続き子どもアトリエプログラム（教育普及事業）に取り組み、子どもたちの表現力や創造性を育む機会を提供していく。		上田市立美術館

	主な取組状況・成果	今後の取組予定・課題	関連する個別計画	担当課
6	○美術館を身近なものにする展覧会の開催 以下の企画展を開催した。 ・ヒグチュウコ展（R3） ・山下清展（R4） ・特撮のDNA in 信州上田展（R6）	子どもから大人まで、多様な層が興味関心をもてる展覧会を企画し、美術館を身近なものにする。	文化芸術振興に関する基本構想	上田市立美術館
7	○学校等と連携した魅力発信 小中学校の総合学習を通じて、史跡上田城跡の魅力を伝えるとともに、地域への愛着や誇りを育んだ。（R6：保育園1園、小学校1校、中学校2校、高校1校、大学1校）【再掲】	復元整備の進捗状況を踏まえ、継続して実施。	史跡上田城跡整備基本計画	櫓復元推進室 上田城跡整備室 生涯学習・文化財課
8	○郷土学習の実施 小中学校の総合的な学習や郷土教育として、学校での講演や体験学習の支援など、学習支援を行った。	次代を担う子どもたちが歴史を学んだり文化財を身近に感じ、郷土に誇りを持ってもらうための取組は重要であり、今後も継続して実施する。	歴史文化基本構想	生涯学習・文化財課
9	○親子体験講座 公民館と連携して、発掘したクジラ化石を紹介しかつての上田の姿を学ぶ講演に加え、クリーニング作業で発生した泥岩を活用して化石発掘体験を親子体験講座として実施した。	市内で発見されたクジラ化石をきっかけに、自然科学に興味を持っていただく良い機会となっており、情報発信や体験講座など今後も継続して実施する。		

- ・生活に潤い、感動、安らぎ、喜びが感じられる、豊かな人生を育みます。

	主な取組状況・成果	今後の取組予定・課題	個別計画	担当課
1	○上田城跡能 能の公演及び地元小・中学生を対象とした能楽講座など、伝統文化に触れる機会として、上田城跡能を実施した。	令和7年度をもって最終公演とする旨が実行委員会によって決定している。能楽等の伝統文化に触れる機会については、今後検討する。	文化芸術振興に関する 基本構想	文化政策課
2	○シリーズ文化講演会 各界で活躍されている方々を講師に招き、3回シリーズとなる文化講演会を実施した。	今後も市内の文化団体との協働により、講演会の開催を継続する。		
3	○鑑賞事業（音楽） 魅力ある「鑑賞事業」の推進を図るため、鑑賞事業（音楽）として、群馬交響楽団上田定期公演など30公演を実施した。	引き続き、鑑賞者のニーズを的確に捉えながら、多彩で魅力的な公演の開催に取り組んでいく。		交流文化芸術センター
4	○鑑賞事業（演劇・ダンス） 魅力ある「鑑賞事業」の推進を図るため、鑑賞事業（演劇・ダンス）として、新国立劇場バレエ団公演や松竹大歌舞伎など13公演を実施した。	引き続き、鑑賞者のニーズを的確に捉えながら、招聘等も含め、多彩で魅力的な公演の開催に取り組んでいく。		
5	○魅力ある鑑賞事業の推進 以下の鑑賞事業を開催した。 ・山本鼎版画大賞展（R3、R6） ・全国大学版画展（R3～R6） ・アルフォンスミュシャ展（R4） ・遠藤彰子展（R4） ・特別展 ハッケン！上田の仏像（R6）	地域住民が生活に潤い、感動、安らぎ、喜びが感じられるよう、魅力ある鑑賞事業を継続して実施するとともに、さらなる充実を図る。		上田市立美術館

	主な取組状況・成果	今後の取組予定・課題	個別計画	担当課
6	○みるつくるまなぶ事業（教育普及事業） 子どもから大人までを対象とした制作体験講座を実施した。 ・デッサン講座 ・版画講座 ・水彩画講座 ・日本画講座 など	みるつくるまなぶ事業（教育普及事業）として、引き続き子どもから大人までを対象とした制作体験講座を開催する。学生や社会人などが幅広く受講できる内容・日程等に配慮していく。	文化芸術振興に関する基本構想	上田市立美術館
7	○市民が創造した作品の展覧会の開催 以下の作品展を開催した。 ・農民美術作品展 ・長野県上小児童生徒美術展 ・上小地区児童生徒立体等作品展 ・上小地区児童生徒版画展	市民が創造した作品を紹介する展覧会を継続して開催することで、市民の文化芸術活動に対する興味関心や意欲を高める。		
8	○「文化財de文化祭」 文化財を会場にコンサートなどの文化事業を開催する「文化財de文化祭」を毎年開催した。	文化財活用のモデル事業として多様な種別の文化財を活用し様々な催しを開催することで各地域で文化財の活用が進展することを期待しており、今後も継続して実施する。集客が可能な文化財が限られたり、会場の制約が生じることが課題である。	歴史文化基本構想	生涯学習・文化財課
9	○文化財マップの公開・運用 ホームページに掲載している文化財マップを更新し、掲載する文化財を毎年追加している。	指定文化財をすべて掲載できておらず、条件が整ったものから順次追加して掲載していく。		

<地域づくり>

- ・文化芸術の力により、人を惹きつけるまちの魅力を育みます。

	主な取組状況・成果	今後の取組予定・課題	個別計画	担当課
1	○文化支援事業 市民が自ら主催する文化事業の開催を支援することで、地域の文化芸術の振興を図った。	市民の自主的な文化芸術活動が行われるよう、市民が企画、運営する文化事業の支援を継続する。	文化芸術振興に関する 基本構想	文化政策課
2	○うえだ城下町映画祭の開催 上田ロケ作品の上映や、自主制作映画コンテストの開催など、「映画のまち うえだ」の魅力発信に努めた。	多くのロケが行われてきた「映画のまち うえだ」の魅力発信を行うため、市民有志からなる「うえだ城下町映画祭実行委員会」との協働により継続して実施する。		
3	○まちとつながるプロジェクト アーティストが地域に出向きパレードを行うなど、市民と交流する取組としてまちとつながるプロジェクトを実施してきた。	現状の事業は一旦区切りを付けることとし事業内容見直し、他分野との連携を検討する。		交流文化芸術 センター
4	○魅力ある鑑賞事業の推進【再掲】 以下の鑑賞事業を開催した。 ・巨匠たちの10代（R3） ・アルフォンスミュシャ展（R4） ・遠藤彰子展（R4） ・刀剣と甲冑（R5） ・特撮のDNA in 信州上田展（R6） ・特別展 ハッケン！上田の仏像（R6）	市内はもとより市外・県外からも来場者が訪れる展覧会や、地域に伝わる伝統文化について上田から全国へ発信する展覧会など、人を惹きつける魅力的な鑑賞事業を継続して実施する。		上田市立美術館
5	○地域の企業や団体と連携した事業の実施 地域の企業や団体と連携し、展覧会と関連したイベントやPRを実施した。 ・「特撮のDNA in 信州上田展」での商店街とのタイアップによるフラッグ等の掲出やコラボ商品の開発・販売（R6）	引き続き地域の企業や団体との連携に取り組み、まちの魅力づくりにつなげていく。		

	主な取組状況・成果	今後の取組予定・課題	個別計画	担当課
6	○史跡上田城跡の復元整備に向けた協議 城跡の復元整備に精通した学識経験者（古建築、石垣、古文書、古写真等）を委嘱し、武者溜り整備事業や発掘調査、保存活用計画、整備基本計画の計画案に対する意見聴取や協議を行った。（R3～：史跡上田城跡整備専門家会議）	引き続き、城跡の復元整備に向けて会議を開催していく。 （令和7年度は「史跡上田城跡整備基本計画」の改訂のほか、旧市民会館の解体及び武者溜り整備の進捗状況の報告、上田城櫓・櫓門復元について検討を行う。）	史跡上田城跡整備基本計画	生涯学習・文化財課 上田城跡整備室
7	○史跡上田城跡の復元整備に向けた取組 史跡上田城跡の復元整備に向けて、以下の業務を実施した。 ・旧市民会館解体及び武者溜り整備に係る予備調査（R3） ・武者溜り基本計画策定及び公園再整備費用対効果分析業務（R4～R5） ・発掘調査（R4～） 旧市民会館駐車場、三十間堀跡、冠塀台石垣跡、本丸櫓跡 ・その他、資料調査（古写真・古文書等）について、これまでも上田城の櫓・櫓門の復元に向けて取り組んできたが、令和5年7月から懸賞金事業を実施し、広く情報提供を呼び掛けるなど取組を強化した。（R7.3末時点：66件の情報提供）	【今後の取組予定】 ・史跡上田城跡整備基本計画の改訂（R7） ・発掘調査（R7～） ・旧市民会館の解体（R7～R8） ・武者溜り整備 ・上田城櫓・櫓門復元 【課題】 ・武者溜り整備は、三十間堀や冠塀台等の発掘調査や、地質調査、旧市民会館解体後の南側土塁調査を進めながら、史跡上田城跡整備専門家会議委員や文化庁担当調査官との協議を進めていく等、多岐にわたる業務となる。 ・上田城櫓・櫓門復元については、現時点では有力な情報が得られていないことから、引き続き情報提供を呼び掛けるとともに、史跡上田城跡整備専門家会議や文化庁担当調査官との協議を進めていくことで早期復元を目指していくことになる。		
8	○行政計画への登載 歴史文化基本構想を発展させ、文化財保存活用の方針を示す「上田市文化財保存活用地域計画」を作成し文化庁の認定を受けた。	計画を着実に推進し、文化財の保存活用を進める。計画期間が令和7年度までであり、第二期計画の作成に取り組む。	歴史文化基本構想	生涯学習・文化財課

	主な取組状況・成果	今後の取組予定・課題	個別計画	担当課
9	○文化財登録・指定による魅力発信 文化財の登録制度を活用し、複数の建造物が国登録有形文化財に登録された。また、調査を行ってきた美術工芸品について、刀1件、仏像4件を新たに市の有形文化財に指定した。	所有者の意向も踏まえ、登録制度を活用し歴史的建造物等の保存活用推進の取組を継続する。また、調査によって価値付けが明確になった文化財については、指定を検討する。	歴史文化基本構想	生涯学習・文化財課
10	○文化資源の補充調査 仏像悉皆調査の成果をもとに、令和3年度から6年度にかけて仏像詳細調査を実施し、成果の公開の場として、特別展「ハッケン！上田の仏像」を市立美術館で開催した。8,672人の来場があり、市内外の多くの方に上田の仏教美術や仏教文化の特徴をご覧いただくことができた。	公開可能な調査成果を公開し、まちづくりや学習の一助とする。また、調査成果の検証や補足調査を進め、相応しい価値が確認されたものについては指定を検討しさらなる保護を図る。		